

「CO₂削減 アクション月間」の取組成果について

「CO₂削減 アクション月間」の取組

平成23年6月1日(水)～30日(木)

アクション月間の趣旨

児童・生徒の「地球温暖化防止への意識」と「環境に配慮した行動を実践する意欲」を高める。

小・中学校等の児童・生徒の取組内容

- ・家庭におけるCO₂削減に向けた生活行動とそのチェック
- ・月間中に7日間の実践

各学校における取組内容

- ・各学校では、節電・節水等に関する取組
- ・校長等による環境講話

都教育委員会の支援策

- ・児童・生徒用教材 ・保護者啓発用資料
- ・都教委版チェックシート
- ・指導資料 ・講話資料

環境教育優良校の表彰(別紙2)

参加した小・中学校等への協力賞

取組成果

参加数

都内1,927校の小・中学校等の児童・生徒198,514人が行動を実践

(前年度、都内1,931校の小・中学校等の児童・生徒188,949人が行動を実践)

CO₂削減量

約680トン (前年度、約450トン)

杉の木約49,000本が1年間に吸収するCO₂の量にあたる

家庭や子供の声

こまめに電気を消したり、水道を止めたりするなどCO₂削減に向けて取り組んだ結果、今では節約することが当たり前の生活になっています。
チェックシートにある節電の項目を意識し、家族みんなで声を掛け合って取り組みました。

学校の工夫

節電、節水、給食の食べ残しをしないなどに取り組みました。今年度は、「エコ委員会」を発足させ、ポスターをつくるなど、節電への啓発にも取り組みました。
エアコンの使用を室温・湿度・時間により制限するなど、学校を挙げて15%の節電に取り組みました。

【参考】3年間の取組の推移

